



練馬区若年層選挙啓発プロジェクト

(事前お知らせ)

中学生 38 人が大人へ、投票の呼びかけ

と き	街頭啓発：6月21日（金）午後4時～6時まで (グッズなくなり次第終了)
と ころ	街頭啓発：地下鉄大江戸線光が丘駅周辺



21日、午後4時から、地下鉄大江戸線光が丘駅周辺にて、区立豊溪中学校の生徒らが、都議選周知のため街頭啓発を行う。
 まだ選挙権を持たない中学生から大人へ「一票の大切さ」を訴えるとともに、中学生には、早期から選挙に対する意識を高めてもらうのが狙い。この活動への参加に手を挙げた中学生38人は、練馬区選挙管理委員会（以下、区選管）がデザインした「付箋」を配布し、投票への参加を呼びかける。その内、野球部の生徒は、ユニフォーム姿で参加する予定。



配布する付箋

【中学生が大人に呼びかけ】

いまや深刻な問題になっている若年層の投票率低下。最近の傾向として、投票率が低下する世代が拡大しており、原因として“投票に行かない20歳代だった若者”が、30歳代になってからも投票に行かないまま、となっているのではないかと考えられている。

これを受け、区選管では、20歳・30歳代への啓発はもちろん、未来の有権者である未成年層への早期啓発に取り組むことで、“投票に行かない習慣”の予防につなげようと考えている。

そこで、23日に投票日を迎える都議選周知のため、投票日の2日前にあたる21日夕方から、街頭啓発キャンペーンを、区立豊溪（ほうけい）中学校の生徒38人が区選管と一緒にやる。当日、中学生は選管が作った「付箋」を配布、同じく目立つようにと「都議選のキャッチコピーの横断幕」を掲出し、投票参加を呼びかける。

グッズは都議選のキャッチコピーである『キミと投票する選挙』と書かれた付箋で、これは区選管の若手職員がデザインした。事前の説明会で配った時にも、中学生にはかわいいと好評だった。

未成年である中学生は直接選挙に参加することはできないが、選挙の結果は自分達の“生活する今”を左右するものであり、決して無関係ではない。「街頭啓発活動を通じ、大人たちへメッセージを発信すると同時に、未来の有権者である中学生自身に早期から選挙の大切さを感じ取ってもらえれば」と、区選管では考えている。

現場では、中学生38人に加え、区民ボランティアである「明るい選挙推進委員」5人、選挙管理委員4人も参加して、光が丘駅周辺で5つのチームに分かれて、午後4時から約2時間にわたり、街頭啓発を行う（グッズなくなり次第終了）。小雨の場合は決行。雨の場合は中止となる。

【問い合わせ】 選挙管理委員会事務局情報啓発係 電話 03-5984-1019